

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



ほんものに学ぶ

私には20歳を超えた姪がいますが、その子が幼い時、とにかく何でも体験させようと公園に連れて行ったり、図書館に行ったり、そのあたりに落ちている石ころを拾って遊んだり、半ば強制的ではありましたが外に連れ出すことを多くしていました。それはなぜかという、当時、「体験活動の機会に恵まれた子供は、大人になったときに自尊感情が高くなる傾向がみられる」という文部科学省の調査を目にしたからです。

体験活動には多くの教育的意義があるといわれていますが、現代社会では昔のように、何もなくても体験活動の機会が担保されているわけではありません。昔は当たり前体験し、その中で学ぶことができたことが、今ではできない社会に変化してきたのも事実です。追い打ちをかけるように、コロナウィルスの拡大で、子供たちから「かわり」を奪っていききました。

圧倒的に体験活動の機会が減ってしまった子供たちに、学校はどのようにして生きる力を育ていけばよいのでしょうか。あらためて学校の使命を考えました。

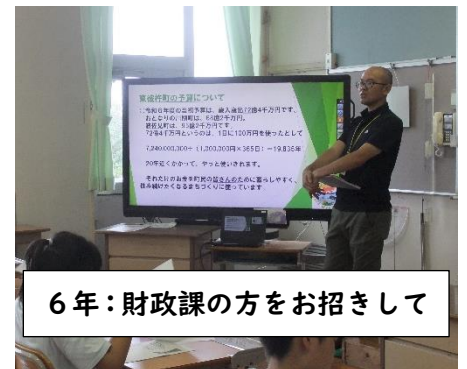
千綿小学校では、本年度、「ほんものに学ぶ」機会をより多くもちたいと考え、以下に示す活動に取り組みせました。(このほかにもありますが、一部紹介いたします)

- ・ 6年生：修学旅行で多くの歴史的な遺産や出来事にふれる。
社会科学習で町の財政課の方をお招きして、東彼杵町の予算の話や、税務署の方から税の役割等について話を聞く。
- ・ 5年生：米作りのプロの方から手ほどきを受け、田植えを行う。
- ・ 4年生：長崎市に出かけ平和をテーマに学ぶ。
東彼杵町の水道課の方から話を聞く。
- ・ 3年生：外部講師をお呼びしてお茶の淹れ方の体験活動を行う。 など

子供たちが見たもの、触れたもの、体験したものは、まさに「ほんもの」です。ほんものだからこそ、たくさんの驚きや感動があり、目を輝かせ、自分事として考える子供の姿が見られます。今後も、様々な方々のお力をお借りしながら、子供たちの学びの充実に努めてまいります。

【7月の主な行事】

- | | | |
|----|--------|--------------------|
| 7月 | 2日(火) | 地区別児童会 |
| | 5日(金) | 委員会活動 |
| | 8日(月) | 早日課 全校5時間授業(通常掃除) |
| | 9日(火) | 早日課 全校5時間授業(縦割り掃除) |
| | 10日(水) | 早日課 全校5時間授業(掃除なし) |
| | 11日(木) | 早日課 全校5時間授業(通常掃除) |
| | 12日(金) | 早日課 全校5時間授業(縦割り掃除) |
| | 16日(火) | 共遊 |
| | 19日(金) | 1学期終業式 |



6年：財政課の方をお招きして



3年：お茶の淹れ方教室